



ひとりぼっち ゼロ PROJECT

ニュース No.78
2026.5.1

開催しました!

「障害者権利条約からみた日本の現状と課題」 ～女性として 人として生きる～

藤原久美子さん DPI 女性障害者ネットワーク 代表
NPO 法人 CIL 神戸 Beすけっと 事務局長

2月21日(土)午後、神戸市障害者福祉センターで開催した人権講演会には52名の参加がありました。視覚障害を持つ女性として、複合差別、優生保護法、国連の取組み等、具体的な経験を交えての藤原さんのお話は、わかりやすかったと参加者からたくさんの反響をいただきました。

プロジェクト企画
人権講演会



=参加者の声から=

まず前向きで、力強い語り口で、ひきつけられました。障害のある方が「自分で選んで自分で決める」という当たり前の基本的人権が守られていない場合が多くあることをしっかり教えていただきました。障害者権利条約が採択されたのがわずか 20 年前、2006 年とは…。「私たち抜きに私たちのことを決めないで!」この当たり前のことがすべての人々に理解され、守られていくように見守り、願っています。私は緑内障で、視力が落ちていて、気持ちが沈んでいますが、藤原さんの力強い生き様を拝見して、とても力づけられました。益々のご活躍をお祈りしております。私も元気に頑張ります。

A やはり一番大きいのは「怒り」でしょうかね。こうした活動ができるまでは、怒りとまでは言えないけれど、何かモヤモヤした思いがたくさんあり、自分でもどうしたらいいかわからなかったです。でもピアカウンセリングで自分の気持ちを聞いてもらったり、「権利」への正しい理解が深まったことで、それが「怒り」であることに気づけたというのが、大きいように思います。

Q 長年の活動に敬意を表したい。その活動を継続する原動力はどこからきているのでしょうか?聞きたかったです。

紹介します! 聴覚障害者の くらしを考える会 神戸の取り組み

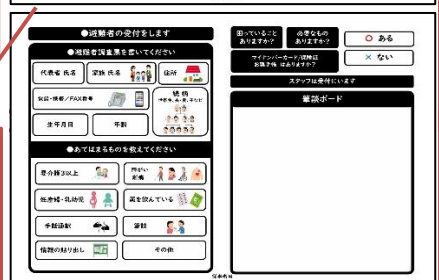
地域こんだん会では、会員だけでなく非会員の方にも声をかけて集まっていただきます。日頃のくらしの不便さや困りごとについて自由に話す中で、困っているのは自分だけではないことに気づき、「もっとこうなったらいいのに」という要望の原型を作っていきます。神戸市への要望書の内容はろうあ協会、手話サークルみんなで学習して共有します。これまで地域こんだん会で出された要望から事業になったものもあります。地域こんだん会で、ひとりひとりの困りごとに寄り添う活動も、ひとりぼっちをなくす大切な取り組みと認識して活動しています。

要望書をもとに神戸市と話し合う中で、災害時のコミュニケーション支援ボードが作られ「避難所開設キッド」に加えられることになりました。またきこえない人への配慮を啓発する広告が今年3月から市営地下鉄、バスの車内に掲示されています。

⇒乗る機会があれば見つけてみてください



【車内広告】



ホームページ協力者募集!!

ひとりぼっち ゼロ PROJECT のホームページの作成、更新のご協力をいただける方は下記までご連絡をお待ちしています。

避難者用(上)
従事者用(下)
※神戸市ホームページでも紹介しています